

各巻ごとの分売可

十五年戦争 極秘資料集

「満州事変」直前から日中全面戦争直前までの時期における陸軍中央の社会情勢認識や日本軍兵士観、軍隊内統制のあり方などを伝えるマル秘資料を復刻！

補巻29

陸軍省『調査彙報』

全5冊・別冊1 松野誠也編・解説

本体価格

各冊 15,000円＋税
別冊のみ 1,000円＋税

★十五年戦争極秘資料集全30集の完結後、新たに発見された資料・文書を基に、補巻として刊行。未公表「極秘」文書を、原本のまま復刻、解説を付し刊行！

不二出版

●復刻の辞

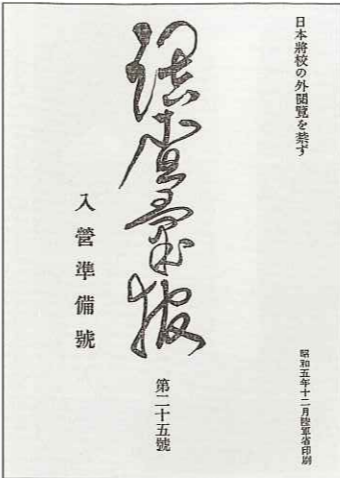
『調査彙報』は、一九二八（昭和三）年六月の第一号から一九三六（昭和十）年十二月の第五三三号（現在確認できたものは、その他に号外等を含め七九冊、内九冊は未収録）まで、陸軍省より発行されたマル秘資料である。

第一号には、「本彙報は、国防上留意すべき世態の実情及思想方面に於ける動静に必要なる資料を蒐集総合して将校の参考に供するを目的」に編纂されたと記されているように、陸軍省の整理による日本国内外の社会・思想情勢が具体的に詳述され、また、入隊後の日本軍兵士の状況やその思想状況を巡る諸問題についても報告や分析が加えられているなど、軍史的にはもとより、社会的にも貴重な資料である。

徴兵制により幅広い大衆層から兵士を確保していた陸軍にとって、社会情勢、特に左派・右派の思想状況や末端の一般兵士の動静の掌握は極めて重要な課題であり、また、これを踏まえて将校を通じて軍隊を統制・管理する必要があったことから、陸軍中央の意図に沿って将校を啓発するために編集・刊行されたのである。

このように、本資料は「満州事変」直前から日中全面戦争直前までの時期における陸軍中央の社会情勢認識や日本軍兵士観、軍隊内統制のあり方などを伝える、他に類を見ない資料であることから、ここに復刻するものである。

不二出版



序言
本彙報の内部は、各号の序言に述べられている通り、日中全面戦争直前までの時期に於ける陸軍中央の社会情勢認識や日本軍兵士観、軍隊内統制のあり方などを伝える、他に類を見ない資料であることから、ここに復刻するものである。

●推薦の辞

軍の思想・社会問題への関心を示す重要資料

吉田 裕（二橋大学大学院教授）

一九二〇年代の半ば頃からは、日本社会においても、労働運動や無産政党運動などの社会運動の高揚がみられた。とりわけ、軍部にとって衝撃的だったのは、非合法の共産党による反戦・反軍闘争が活発化し、同党による対軍隊工作が本格化したことである。この頃から軍部は、思想対策や治安対策に対する関心を肥大化させ、政治体制の「革新」に乗り出してゆく。『調査彙報』は、まさにその時期に陸軍省が作成し部内に配布していた調査報告書である。内容は、国内における反戦・反軍運動や右翼運動の動向、兵士の思想状況、海外におけるコミンテルンやソ連の動向など多岐にわたる。同時に、反戦・反軍運動への対抗から、陸軍が「皇軍」としての自己認識を理論化し始める過程もうかがえて、興味深い。

私がこの『調査彙報』を初めて目にしたのは、もう二〇数年も前のことである。重要な歴史資料であることはすぐにわかり、切刀俊洋氏などとともに、その重要部分を大月書店刊の『資料日本現代史』に収録した。しかし、その時点で私たちが入手することができていたのは、全体のごく一部にしかすぎなかった。今回、松野誠也氏の精力的な調査によって、『調査彙報』のほぼ全容が明らかになった。折から、メディアは、自衛隊が市民運動に対する監視活動を行っていた事実を示す内部文書が明らかになったと報じている。そんな時代であるだけに、この資料が研究者をはじめ多くの人々に活用されることを期待したい。

陸軍省『調査彙報』刊行概要・収録一覧

号数	発行年月	特集（表紙にタイトルがあるもののみ表記しています）	原本文頁数	4面付け頁数	復刻版巻数	配本年月
1	昭和3年6月		40	約332ページ	第1冊	第1回配本 (2007年9月)
号外	(1928年)6月	秘密結社日本共産党に就て	36			
別冊	"6月	縦貫的に観たる第三インターナショナルと其の運動	欠号			
2	"7月		68			
3	"8月		92			
4	"9月		84			
5	"11月		85			
6	"12月		88			
7	昭和4年1月		46			
7号附録	(1929年)1月	公判に現れたる共産党概見	31			
8	"2月		72			
9	"3月		87			
号外	"3月	日本社会主義運動史	70			
号外	"3月	経済上より見たる思想問題	欠号			
10	"4月		60			
11	"5月		71			
12	"?		欠号			
総目次	"6月	『調査彙報』総目次（自第1号～至第10号）	26			
13	"7月		63			
14	"8月		56			
15	"10月		50			
16	"11月		39			
17	"12月		50			
18	昭和5年1月		62			
号外	(1930年)2月	反軍スローガンに対する総括的批判	80			
19	"2月		96			
20	"3月		60			
号外	"3月	思想問題の理論的研究 無政府主義	36			
号外	"4月	思想問題の理論的研究 マルクス経済学とその批判	50			
号外	"4月	赤軍の政治作業（戦時の部）	137			
号外	"5月	思想問題の理論的研究 マルクシズムの哲学的批判	54			
21	"6月		44			
号外	"6月	蘇聯邦に於ける徴集前杜丁の政治教育	86			
号外	"6月	思想要注意兵教育に関する記録	欠号			
22	"8月		53			
号外	"8月	思想問題の理論的研究 民主主義概論	54			
23	"9月	秋季演習号	43			
号外	"9月	赤軍の政治作業（平時の部）	200			
号外	"9月	露國過激派暴動史	欠号			
号外	"10月	独逸警察戦術	280			
24	"11月	国体に関する共産党の見解に就て	102			
25	"12月	入營準備号	124			
26	昭和6年1月	社会運動概観	76			
号外	(1931年)1月	思想問題の理論的研究 理想主義	40			
号外	"2月	クリミア及コーカサス旅行日誌	33			
27	"4月	信書の取扱に就て	30			
総目次	"4月	『調査彙報』総目次（自第21号～至第26号）	17			
号外	"4月	世界大戦間に現れたる独逸軍隊の社会的欠陥	62			
28	"5月	学生運動の本質	30			
29	"6月		70			
号外	"9月	思想問題の理論的研究 社会政策と社会科学及社会哲学	28			
30	昭和7年2月	満洲事変と社会運動	38			
号外	(1932年)8月	皇軍の倫理的的研究	42			
号外	"11月	共産党の工作要領	204			
31	昭和8年4月	最近の思想運動と其所見	63			
号外	(1933年)6月	右翼団体名簿（増補改訂版）	290			
32	"7月		60			
号外	"9月	五・一五事件陸軍軍法会議公判記録	542			
33	"12月		58			
34	昭和9年1月	独逸国民教化宣伝に就て	45			
35	(1934年)3月	国内思想（社会）運動概観 其一	282			
36	"3月	日本精神より観たるナチス	45			
37	"4月	思想対策参考書	130			
38	"?		欠号			
39	"5月	国内思想（社会）運動概観 其二	87			
40	"6月	蘇聯邦五年計画の一觀察	63			
41	"6月	國際共産党對外活動の概観	35			
42	"7月	世界に於ける反戦運動の概観	42			
43	"8月	皇道原理に依る國家社会主義批判	50			
44	"?		欠号			
45	昭和10年3月	右翼団体名簿（増補改訂版）	200			
46	(1935年)3月	古事記口語譯	未収録			
47	"6月	『日本精神学』序説	174			
48	"6月	「フラン・マソン」に関する一研究	100			
49	"6月	近時に於ける反軍運動の傾向に就て	8			
50	"?		欠号			
51	昭和11年6月	第七回國際共産党大会に関する一觀察	48			
52	(1936年)7月	二・二六事件前後に於ける右翼運動概観	27			
53	"12月	思想団体名簿	252			
計79冊	(内、9冊未収)		6046	約総1,536頁	全5冊	全5回配本

日本將校の外閱覽を禁す

昭和三年六月陸軍省印刷

陸軍叢報

第一號

調査叢報 第一號

目次

第一 國內思想界の大觀	一頁
其一 國內一般の思想情態	一
一 左傾思想の發起	一
二 本邦に於ける左傾思想家の政治的進出	三
三 各無産政黨の本質	四
四 水平社の概要	八
五 殖民地に於ける狀況	九
六 右傾團體	一一
七 山東出兵と左傾團體	一二
其二 軍部との關係	一四
一 極左派は軍部を何と見る	一四
二 軍部の採るべき態度	一五
第二 部内思想注意事項	一七
一 思想要注意兵の日記	一七
二 部落出身兵卒問題を起さんとす	二一
第三 蘇聯邦宣傳實行に關する原則	二三
第四 用語の解	二六

- 一 本彙報は國防上留意すべき世態の實情及思想方面に於ける動靜に關し必要なる資料を蒐集綜合して將校の参考に供するを目的とす
- 二 記事は作業者の私見に過ぎざるを以て失當の點なきを保せず又内容には祕密に屬するものあり之が取扱に注意を望む

① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1031-0 18,000円	⑪ 二反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1041-8 8,500円	⑲ 日本占領下上海における日中要人インタビューの記録 高綱博文 編・解説 ISBN4-8350-1428-6 5,500円	⑲ 陸軍省『調査彙報』全5冊・別冊1 松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1429-4 18,000円
② 毒ガス戦関係資料Ⅱ 吉見義明・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1032-9 18,000円	⑫ 東亜諸民族の死亡に関する衛生統計的調査 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1042-6 12,000円	⑳ 満洲国軍ノ現況 松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1429-4 18,000円	⑳ 陸軍省『調査彙報』全5冊・別冊1 松野誠也 編・解説 ISBN978-4-8350-5834-4 76,000円
③ 思想彙報Ⅱ 荻野富士夫 編・解説 ISBN4-8350-1033-7 15,000円	⑬ 関東軍参謀部作成 総動員関係調査資料 永島勝介・安富 歩 編・解説 ISBN4-8350-1043-4 8,500円	㉑ ベンゾイン不正輸入事件関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1430-8 8,500円	㉑ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 全9冊揃 191,000円 ISBN4-8350-5375-3
④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書(昭和18年) 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1034-5 15,000円	⑭ 軍律法廷審判例集 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1042-2 8,500円	㉒ 終戦後の法令制定・改正・廃止経過一覽 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1431-6 6,800円	㉒ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 全9冊揃 191,000円 ISBN4-8350-5375-3
⑤ 第一次上海事変における第九師団軍医部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1035-3 18,000円	⑮ 南方方面海軍資料 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1045-0 6,500円	㉓ 宣撫月報 全8冊・別冊1 山本武利 解説 全9冊揃 145,000円 ISBN4-8350-5645-0	㉓ 五・一五事件期憲兵司令部関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-5655-8 12,000円
⑥ 廬溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1036-1 6,000円	⑯ 陸軍に於ける花柳病 早川紀代 編・解説 ISBN4-8350-1425-1 6,500円	㉔ 関東軍化学部・毒ガス戦教育演習関係資料 松村高夫・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-5656-6 20,000円	㉔ 資料集成 戦争と障害者(第一期)全7冊 清水 寛 編 全7冊揃 140,000円 ISBN978-4-8350-5758-3
⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 ISBN4-8350-1037-X 6,500円	⑰ 毒ガス戦教育関係資料Ⅱ 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1426-X 8,500円	㉕ 陸軍省『調査彙報』全5冊・別冊1 松野誠也 編・解説 ISBN978-4-8350-5834-4 76,000円	(以後、新資料発見次第、逐次刊行予定)
⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書Ⅱ 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1038-8 6,000円	⑱ 十五年戦争末期国内憲兵分遣隊報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1427-8 6,000円		
⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1039-6 8,500円	㉖ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1040-X 6,000円		

陸軍省『調査彙報』

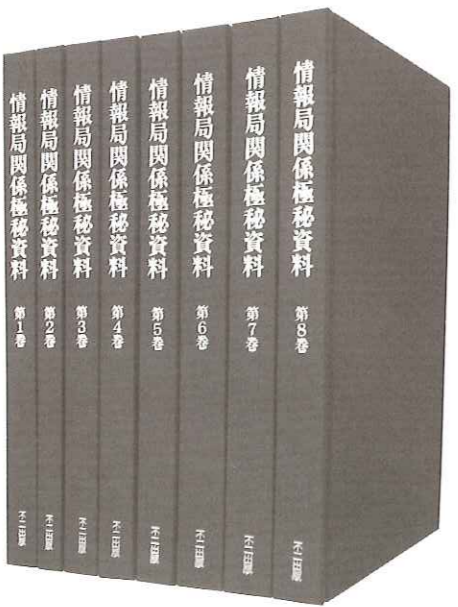
全5冊・別冊1 概要

●関連図書(復刻版)のご案内

情報局関係極秘資料 全8巻

戦前の日本の情報機関の創設は、昭和七年外務省に「情報委員会」が設置され、その後、昭和十一年「同盟通信社」と「内閣情報委員会」の設立に始まる。のち、「内閣情報委員会」は「内閣情報部」「情報局」と改組発展し、十五年戦争をになう重要な情報・宣伝機関となる。この間の情報局等の刊行物は膨大な量と種類があるが、その全容は未だはつきりしない。本書は、内閣情報委員会・内閣情報部および情報局の刊行物のうち、極秘(あるいは秘)扱いのものを出来る限り収集し復刻。日本近現代史・メディア史の基本資料として刊行するものである。

- ・推薦 山本武利・内川芳美・山本武利
- ・解説(荻野富士夫)付き
- ・A4判・上製・総2,730頁
- ・揃価240,000円十税
- ・'03年5月〜9月配本完結(編集復刻版)



表示価格は全て税別

不二出版

〒113 東京都文京区向丘1-1-11
TEL 03-3811-4433
FAX 03-3811-4434
振替 001601194084

体裁 A4判・上製・函入・四面付・総約1,536頁

収録 第1号(一九二八年六月)〜第53号(一九三六年十二月)ならびに、号外、別冊、附録など計70冊を収録。

提供 防衛省防衛研究所図書館・昭和館・国立国会図書館・国立教育政策研究所教育図書館・法政大学附属図書館・靖国神社偕行文庫

別冊 解説 松野誠也(明治大学大学院博士後期課程・日本現代史)・総目次
※別冊のみ分売可 1,000円十税 ISBN978-4-8350-5830-5

推薦 吉田 裕(一橋大学大学院教授)

配本

- 第1回配本 第1冊(07年9月) 本体価格16,000円十税 ISBN978-4-8350-5835-1
- 第2回配本 第2冊(07年11月) 本体価格15,000円十税 ISBN978-4-8350-5836-8
- 第3回配本 第3冊(08年1月) 本体価格15,000円十税 ISBN978-4-8350-5837-5
- 第4回配本 第4冊(08年3月) 本体価格15,000円十税 ISBN978-4-8350-5838-2
- 第5回配本 第5冊(08年5月) 本体価格15,000円十税 ISBN978-4-8350-5839-9

揃価 全5冊・別冊1 76,000円十税